

宗教と矯正

【概要】 日本の宗教教誨の歴史について資料研究を、現状については教誨師へのインタビューで研究してきた。こうした情報を踏まえていくつかの面から12回のカリキュラム素案を作成した。

宗教教誨や保護活動のさまざまな言説を分析し、具体的な活動実態について検討する。

実際活動自体が変遷しており、理念の諸相も含めて明らかにしていきたい。

回数Lecture	担当者Instructor	学修内容Contents of the learning
第1回	井上 善幸	はじめに：矯正・保護・福祉のかかわり
第2回	アダム・ライオンズ	明治時代の教会の始まり：浦上四番崩れから大教宣布運動まで
第3回	菊川 一道	「教誨師」の誕生と制度の確立
第4回	能美 潤史	戦前から戦中における保護事業とその精度化について
第5回	佐々木大悟	朝鮮半島における教誨師の活動
第6回	佐々木大悟	満州における教誨師の活動
第7回	内手 弘太	敗戦後（占領期）の教誨事業
第8回	川元 恵史	日本国憲法と教誨活動
第9回	真名子晃征	『新法』と宗教教誨
第10回	井上 見淳	真宗教義と教誨活動
第11回	打本 弘祐	米国における刑務所チャプレン
第12回	井上 善幸	更なる学びに向けて

※ 本サイトはトライアルのために第一次案として公開するものです。
無断転載等、著作権を侵害する行為はお控えください。